【情報公開文書】

作成日2026　　年　7　月　13　日
（最終更新日20　　年　　月　　日）

受付番号：　I2026-157
課題名：肝腫瘍に対するロボット支援肝切除術と腹腔鏡下肝切除術の短期成績の検討（国内多施設共同観察研究）

１．研究の対象

2023 年 1 月から 2025 年 12 月までに、当院で肝臓の腫瘍に対して腹腔鏡下またはロボット支援手術を受けた方

２．研究期間

2026 年 9 月 29 日（研究実施許可日）～2028 年 3 月 31 日

３．試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始予定日：　2026　年　10 月　1 日

４．研究目的

本研究の目的は、ロボット支援下肝切除と腹腔鏡下肝切除を受けた患者さんの診療情報を比較し、手術後の合併症の起こりやすさに違いがあるかを明らかにすることです。

これにより、ロボット支援肝切除が腹腔鏡下肝切除と比べて、より安全に行える手術であるかどうかを検討します。

５．研究方法

この研究は、すでに通常の診療として行われた肝切除術に関する診療情報を用いる研究です。

研究のために、新たな検査、治療、来院、採血、画像検査、検体採取などをお願いすることはありません。

６．研究に用いる試料・情報の種類

各医療機関で対象となる患者さんを確認し、通常診療で記録された情報の中から、研究に必要な情報を収集します。収集した情報は、お名前やカルテ番号など、個人を直接特定できる情

報を含まない形にして、研究代表機関である東京科学大学へ提供されます。海外の機関へ情報を提供することはありません。

この研究では、ロボット支援下肝切除を受けた患者さんと、腹腔鏡下肝切除を受けた患者さんについて、手術前、手術中、手術後の情報を比較します。主に、手術後 30 日以内の合併症の起こりやすさを調べます。また、手術時間、出血量、輸血の有無、術後の入院期間、再手術や再入院の有無なども調べます。

収集する情報は、対象となる肝切除術に関する診療情報で、主に手術前から手術後 90 日までの情報です。具体的には、年齢、性別、身長、体重、既往歴、肝臓や腫瘍の状態、肝機能検査、手術内容、病理検査結果、術後合併症、退院日、再手術・再入院・死亡の有無などです。

これらの情報を統計学的に解析し、ロボット支援下肝切除と腹腔鏡下肝切除の手術成績を比較します。どちらの手術を受けるかを研究のために決めることはなく、遺伝子解析も行いません。

７．外部への試料・情報の提供

各共同研究機関で収集した診療情報は、患者さんのお名前やカルテ番号など、個人を直接特定できる情報を削除し、研究用の番号に置き換えたうえで、電子的配信等により研究事務局である東京科学大学へ提供します。研究用の番号と患者さんを対応させるための対応表は、各共同研究機関の研究責任者が厳重に保管・管理します。東京科学大学へ提供される情報から、患者さん個人を直接特定することはできません。

なお、本研究では、海外の機関への情報提供は行いません。また、他の機関が管理するデータベースへの登録も行いません。

８．研究組織

機関名	診療科	研究代表者
上尾中央総合病院	外科	若林　剛
岩手医科大学	外科	新田　浩幸
大阪公立大学	肝胆膵外科	新川　寛二
大阪市立総合医療センター	消化器外科	髙台　真太郎

機関名	診療科	研究代表者
岡山済生会総合病院	外科	児島　亨
がん研有明病院	肝胆膵外科	髙橋　祐
九州大学	消化器・総合外科	吉住　朋晴
京都大学	消化器腫瘍制御・臓器再生外科	波多野　悦朗
久留米大学	外科	後藤　祐一
群馬大学	肝胆膵外科	調　憲
慶應義塾大学	一般・消化器外科	阿部　雄太
高知大学	外科	瀬尾　智
国際医療福祉大学成田病院	消化器外科	板野　理
国立がん研究センター東病院	肝胆膵外科	後藤田　直人
佐賀大学	一般・消化器外科	井手　貴雄
昭和医科大学	消化器・一般外科	青木　武士
新東京病院	消化器外科	飯田　拓
東京医科大学	消化器・小児外科学分野	金沢　景繁
東京科学大学	肝胆膵外科	伴　大輔
東京大学	肝胆膵外科	長谷川　潔
東邦大学医療センター大森病院	消化器センター外科	大塚　由一郎
長崎大学	肝胆膵・移植外科	江口　晋
藤田医科大学	総合消化器外科	高原　武志
藤田医科大学岡崎医療センター	外科	加藤　悠太郎
藤田医科大学ばんたね病院	消化器外科学	守瀬　善一
北海道大学	消化器外科Ⅰ	武冨　紹信

９．利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は東京科学大学肝胆膵外科学分野の運営費ならびに日本肝臓内視鏡外科研究会研究費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

１０．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学病院 肝胆膵外科　浅野大輔
連絡先：03-5803-5928
asano.d.42d2@m.isct.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学 肝胆膵外科　伴　大輔

研究代表者：東京科学大学大学院　医学系研究科肝胆膵外科学分野　伴　大輔

１１．苦情窓口

東京科学大学　研究推進部研究基盤推進課　生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）